資料２

福岡県の肝炎対策について

「第２期福岡県肝炎対策推進計画（2024（令和６）年３月策定）」の全体目標

「2029（令和 11）年までの 6 年間で肝がん（肝及び肝内胆管）による 75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万人対）を 30%減少」

◆2024（令和６年）「4.1」（最新）

注）目標とする肝がん死亡率は、国立がん研究センターが公表している数値を使用

福岡県の肝炎対策について

１　肝がんの現状

（１）肝がん（肝及び肝内胆管）75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万人対）

	2019 (R1)年	2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年
全国	4.0	3.9	3.7	3.5	3.3	3.2
福岡県	**5.5**	**5.2**	**4.7**	**4.6**	**4.3**	**4.1**
全国順位	3 位	3 位	5 位	3 位	4 位	4 位

出典：独立行政法人国立がん研究センター

（２）肝がん（肝及び肝内胆管）死亡数

	2019 (R1)年	2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年
全国	25,264	24,839	24,102	23,620	22,908	22,465
福岡県	**1,377**	**1,326**	**1,267**	**1,249**	**1,166**	**1,190**

出典：人口動態統計

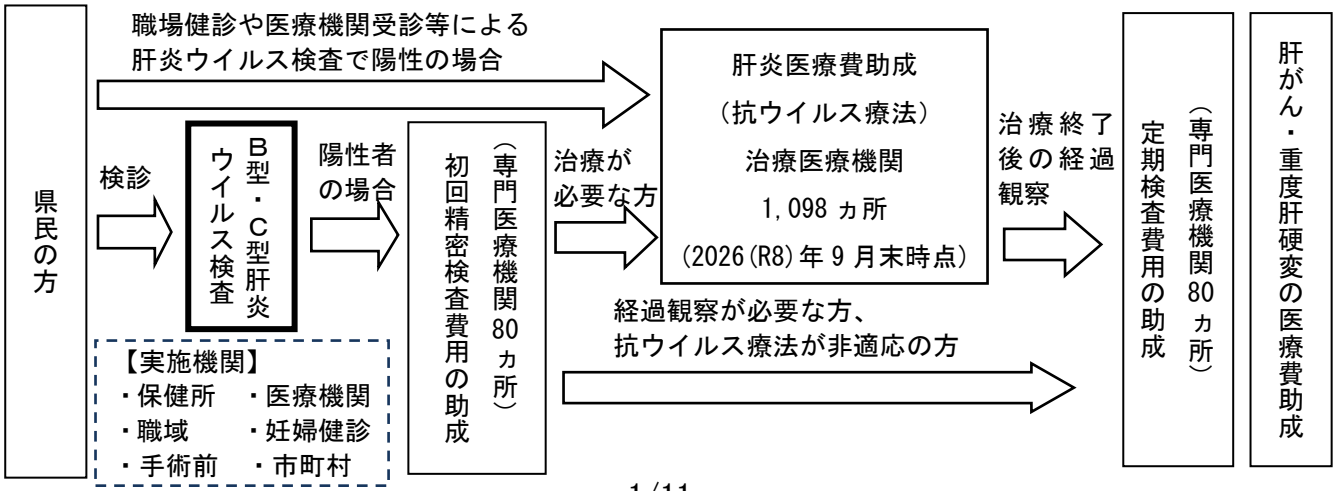
（３）肝がん（肝及び肝内胆管）死亡率（全年齢死亡率）（人口 10 万人対）

	2019 (R1)年	2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年
全国	20.4	20.1	19.6	19.4	18.9	18.7
福岡県	**27.3**	**26.2**	**25.1**	**24.8**	**23.3**	**23.9**
全国順位	6 位	4 位	13 位	11 位	14 位	11 位

出典：人口動態統計

肝がん（肝及び肝内胆管）75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万人対）は第 1 期計画では 2017（H29）年の 6.4 から 2023（R5）年には 4.3 に減少となり、32.8%の減少となり目標の 30%を達成した。第２期計画のスタートの年である 2024 年は前年比 4.6%減少した。

２　本県の肝炎対策体系図



３　肝炎ウイルス検査の促進

【個別目標】

〇肝炎ウイルス検査の受検機会の確保に努める

〇肝炎ウイルス無料検査の陽性者の精密検査受診率 100%を目指す

（１）肝炎ウイルス検査の実施

〇　Ｂ型肝炎ウイルス検査受検者及び陽性者

		2019(R1)年度		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数
無料検査※1	県	3,127	28(0.9%)	3,534	14(0.4%)	5,308	25(0.5%)	5,251	25(0.5%)	4,548	21(0.5%)	4,514	20(0.4%)	6,974	22(0.3%)
	政令市等保健所設置市計	21,447	135(0.7%)	23,588	152(0.6%)	19,765	119(0.6%)	20,642	116(0.6%)	20,345	105(0.5%)	20,829	93(0.4%)	24,534	99(0.4%)
	小計	24,574	163(0.7%)	27,122	166(0.6%)	25,073	144(0.6%)	25,893	141(0.5%)	24,893	126(0.5%)	25,343	113(0.4%)	31,508	121(0.4%)
市町村※2		7,662	43(0.6%)	5,548	32(0.6%)	6,311	39(0.6%)	5,814	42(0.7%)	5,922	32(0.5%)	6,342	31(0.5%)	5,545	
合計		32,236	206(0.6%)	32,670	198(0.6%)	31,384	183(0.6%)	31,707	183(0.6%)	30,815	158(0.5%)	31,685	144(0.5%)	37,053	

（　）内は陽性率

※１　無料検査：県及び政令市等保健所設置市の保健所、検査医療機関で実施
（厚生労働省「特定感染症検査等事業」の実績より）

※２　市 町 村：健康増進事業として実施（政令市等保健所設置市除く）
（2019（R1）年度～2024（R6）年度　地域保健・健康増進事業報告より）
（2025（R7）年度　健康増進課調べ「健康増進事業費補助金実績報告」より）

〇　Ｃ型肝炎ウイルス検査受検者及び陽性者

		2019(R1)年度		2020(R2)年度		2021(R3)年度		2022(R4)年度		2023(R5)年度		2024(R6)年度		2025(R7)年度	
		受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数	受検者数	陽性者数
無料検査※1	県	3,126	29(0.9%)	3,532	36(1.0%)	5,308	30(0.6%)	5,248	23(0.4%)	4,546	15(0.3%)	4,510	19(0.4%)	6,970	24(0.3%)
	政令市等保健所設置市計	21,451	107(0.5%)	23,580	72(0.3%)	19,765	69(0.3%)	20,643	64(0.3%)	20,347	59(0.3%)	20,828	54(0.3%)	24,531	46(0.2%)
	小計	24,577	136(0.6%)	27,112	108(0.4%)	25,073	99(0.4%)	25,891	87(0.3%)	24,893	74(0.3%)	25,338	73(0.3%)	31,501	70(0.2%)
市町村※2		7,660	31(0.4%)	5,545	18(0.3%)	6,312	18(0.3%)	5,814	13(0.2%)	5,919	16(0.3%)	6,331	18(0.2%)	5,535	
合計		32,237	167(0.5%)	32,657	126(0.4%)	31,385	117(0.4%)	31,705	100(0.3%)	30,812	90(0.3%)	31,669	91(0.3%)	37,036	

（　）内は陽性率

※１　無料検査：県及び政令市等保健所設置市の保健所、検査医療機関で実施
（厚生労働省「特定感染症検査等事業」の実績より）

※２　市 町 村：健康増進事業として実施（政令市等保健所設置市除く）
（2019（R1）年度～2024（R6）年度　地域保健・健康増進事業報告より）
（2025（R7）年度　健康増進課調べ「健康増進事業費補助金実績報告」より）

〇2025(令和７)年度　無料検査の実績

〈Ｂ型〉県内保健所実施：1,876 件、医療機関実施：29,632 件　計 31,508 件

県内保健所における検査件数内訳

		北九州市	福岡市	久留米市	県	合計
総件数		1,541	233		102	1,876
	陽性者	10	5		3	18
	陽性率	0.6%	2.1%		2.9%	1.0%

※久留米市については、検査委託医療機関が十分に確保できたこと等により、2020(令和２)年度から保健所における検査を取りやめ

医療機関における検査件数内訳

		北九州市	福岡市	久留米市	県	合計
総件数		5,381	16,414	965	6,872	29,632
	陽性者	32	47	5	21	105
	陽性率	0.6%	0.3%	0.5%	0.3%	0.4%

〈Ｃ型〉県内保健所実施：1,869 件、医療機関実施：29,632 件　計 31,501 件

県内保健所における検査件数内訳

		北九州市	福岡市	久留米市	県	合計
総件数		1,541	230		98	1,869
	陽性者	1	1		0	2
	陽性率	0.1%	0.4%		0.0%	0.1%

※久留米市については、検査委託医療機関が十分に確保できたこと等により、2020(令和２)年度から保健所における検査を取りやめ

医療機関における検査件数内訳

		北九州市	福岡市	久留米市	県	合計
総件数		5,381	16,414	965	6,872	29,632
	陽性者	17	23	4	26	70
	陽性率	0.3%	0.1%	0.4%	0.4%	0.2%

○ 2025（令和７）年度肝炎ウイルス検査受検者及び陽性者（県実施分）

B型 受検者 6,974 名　陽性者 24 名

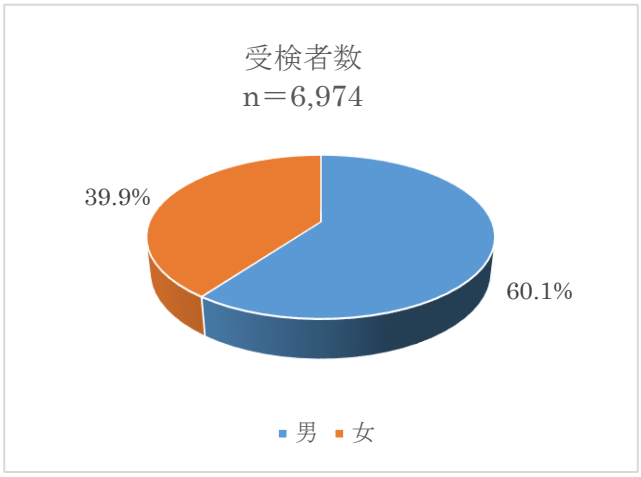
B型	受検者		陽性者	
男	4,189	60.1%	14	58.3%
女	2,785	39.9%	10	41.7%
合計	**6,974**		**24**	
0～19 歳	3	0.0%	0	0.0%
20～29 歳	1,129	16.2%	1	4.2%
30～39 歳	1,475	21.1%	0	0.0%
40～49 歳	1,709	24.5%	2	8.3%
50～59 歳	1,406	20.2%	6	25.0%
60～69 歳	741	10.6%	7	29.2%
70～79 歳	420	6.0%	6	25.0%
80～89 歳	84	1.2%	2	8.3%
90～99 歳	7	0.1%	0	0.0%
合計	**6,974**		**24**	

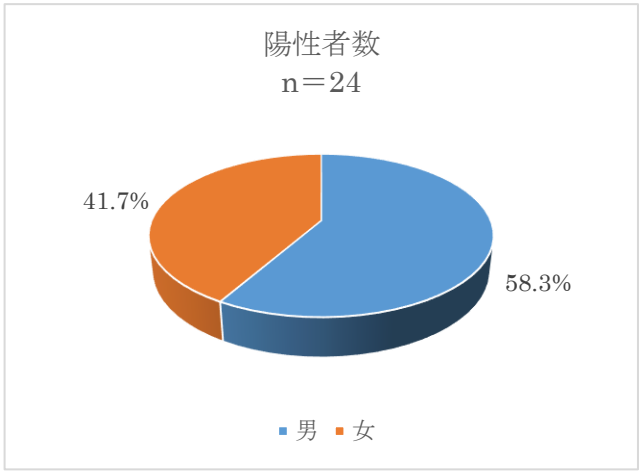
C型 受検者 6,970 名　陽性者 26 名

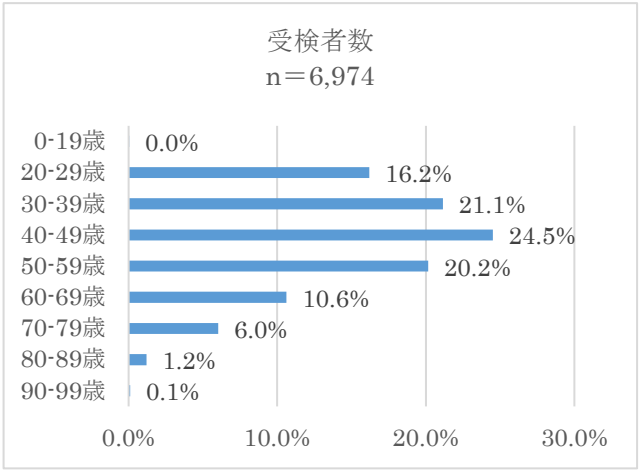
C型	受検者		陽性者	
男	4,187	60.1%	17	65.4%
女	2,783	39.9%	9	34.6%
合計	**6,970**		**26**	
0～19 歳	3	0.0%	0	0.0%
20～29 歳	1,129	16.2%	2	7.7%
30～39 歳	1,474	21.1%	0	0.0%
40～49 歳	1,709	24.5%	5	19.2%
50～59 歳	1,406	20.2%	11	42.3%
60～69 歳	740	10.6%	6	23.1%
70～79 歳	418	6.0%	1	3.8%
80～89 歳	84	1.2%	1	3.8%
90～99 歳	7	0.1%	0	0.0%
合計	**6,970**		**26**	

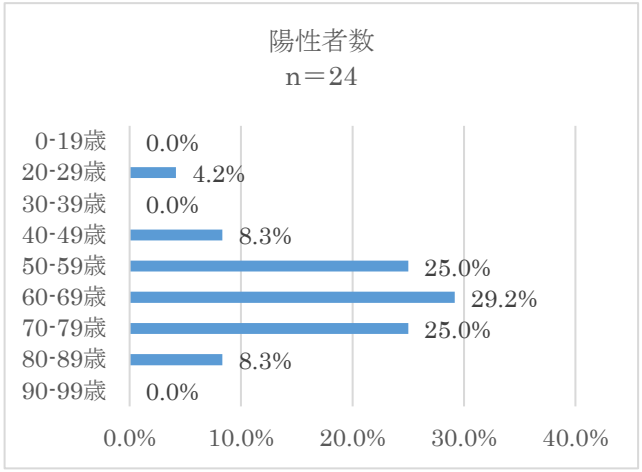
〈グラフ１〉保健所及び医療機関の肝炎ウイルス検査受検者・陽性者（県実施分）

B 型ウイルス

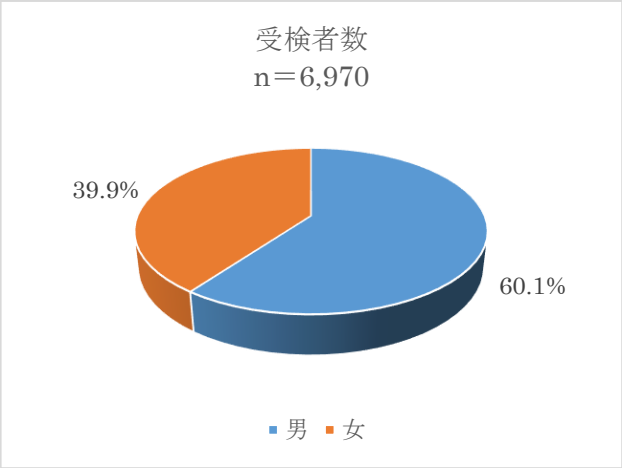


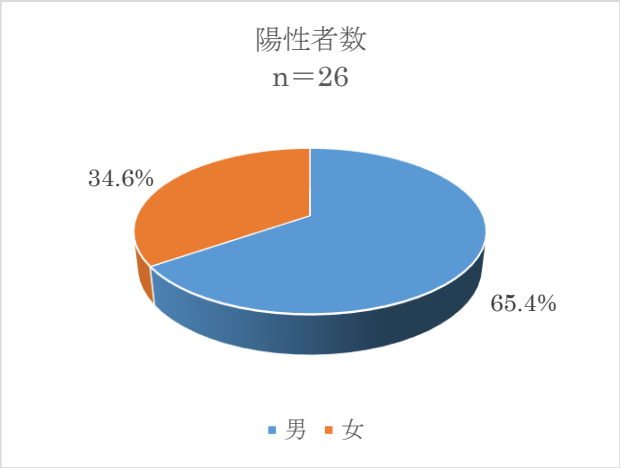


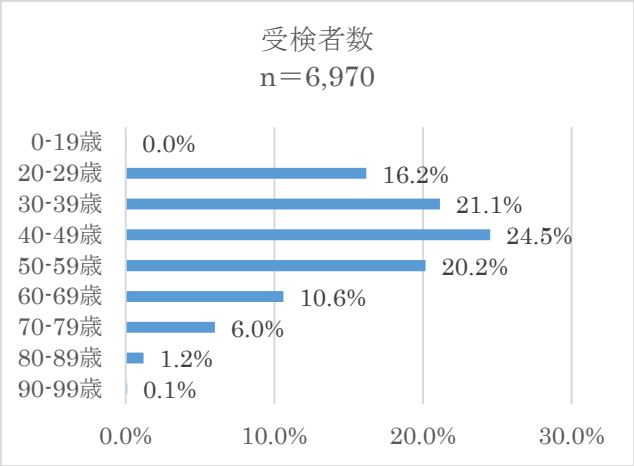


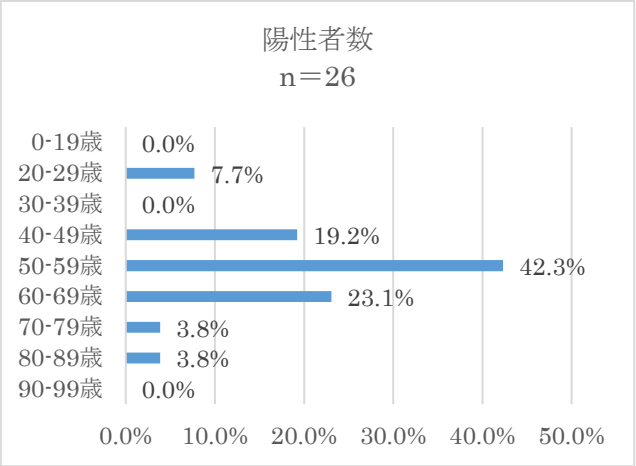


C 型ウイルス









○肝炎ウイルス無料検査の陽性者の精密検査受診率

2025（令和７）年度陽性者【令和８年５月末当課調査時点】

		北九州市	福岡市	久留米市	県	福岡県全域
Ｂ型	陽性者	42	52	5	24	123
	精密受診数	26	34	4	20	84
	受診率	61.9%	65.4%	80.0%	83.3%	68.3%
Ｃ型	陽性者	18	24	4	26	72
	精密受診数	13	19	0	13	45
	受診率	72.2%	79.2%	0.0%	50.0%	62.5%

（２）肝炎ウイルス検査に関する広報活動の強化

①肝炎ウイルス検査や治療に関する啓発資材を用いた広報

・肝炎ウイルス無料検査啓発ポスター（**参考資料１**）

・肝炎ウイルス無料検査啓発ミニのぼり旗（**参考資料２**）

・肝炎ウイルス無料検査啓発ボールペン（**参考資料３**）

・医療費助成リーフレット（**参考資料４**）

医療機関、保健福祉（環境）事務所、県内市町村等に配布、県 HP 掲載

②SNS を用いた広報

・県公式 LINE 及び X で受診促進

③広報媒体を用いた広報
・「肝臓週間」にあわせ、民放ラジオ番組FM福岡で受診勧奨
④事業主と協力した広報
・受検勧奨ポスター（**参考資料５**）
「働く世代をがんから守るがん対策サポート事業」登録事業所等に配布
・感染予防（若者向け）リーフレット（**参考資料６**）
「福岡県がん征圧の集い＆働く世代をがんから守るがん対策推進大会」で配布
・県内の青年会議所へ福岡ブロック協議会を通じてメルマガ配信
「～一生に一度は受けましょう！肝炎ウイルス検査～」
⑥県庁で肝炎ウイルスに関する啓発ロビー展を開催
・「日本肝炎デー」及び「肝臓週間」にあわせ、肝炎ウイルス検査の受検促進や、感染予防についての啓発のための展示やＰＲ動画の放映を実施

（３）職域等での受診機会の拡大
・労働安全衛生法に基づき行う健康診断に併せた肝炎ウイルス検査の実施について県HP に掲載

（４）肝炎ウイルス検査の陽性者に対する専門医療機関への受診勧奨
①県及び政令市等保健所設置市の肝炎ウイルス無料検査の陽性者対策
・未受診者に対し、保健所等から電話や肝炎ウイルス検査陽性者へのリーフレット配布（**参考資料７**）等による受診勧奨を実施（受診確認までフォローアップ）
②職域の肝炎ウイルス検査の陽性者対策
・協会けんぽにおいて県作成啓発資材等を用いて陽性者に対し、精密検査受診勧奨実施

（５）初回精密検査費及び定期検査費助成制度の継続実施
・初回精密検査や定期検査費用を助成することにより、早期治療や定期的な医療機関の受診につなげ、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防を図る
検査の実施医療機関は、福岡県肝疾患専門医療機関（82 ヶ所）
・母子手帳交付時に妊婦検診での陽性者への精密検査受診について市町村に県作成チラシ配布を依頼

	初回精密検査	定期検査	合計
2022(R4)年度	４３	２３７	２８０
2023(R5)年度	３４	２０３	２３７
2024(R6)年度	４４	１９５	２３９
2025(R7)年度	３８	１２５	１６３

（６）職域におけるプライバシー配慮の徹底
・肝炎ウイルスに感染している者が不当な扱いを受けることがないよう、肝炎に対する正しい知識、早期発見や早期治療、検査に対する正しい知識について県 HP で周知

4　適切な肝炎医療の提供

【個別目標】
〇拠点病院と専門医療機関、治療医療機関等との連携強化を図る
〇肝炎医療コーディネーターの増加を図る
（2024（令和６）～2029（令和 11）年度までに 900 人を養成）

【本県の肝疾患医療連携体制】

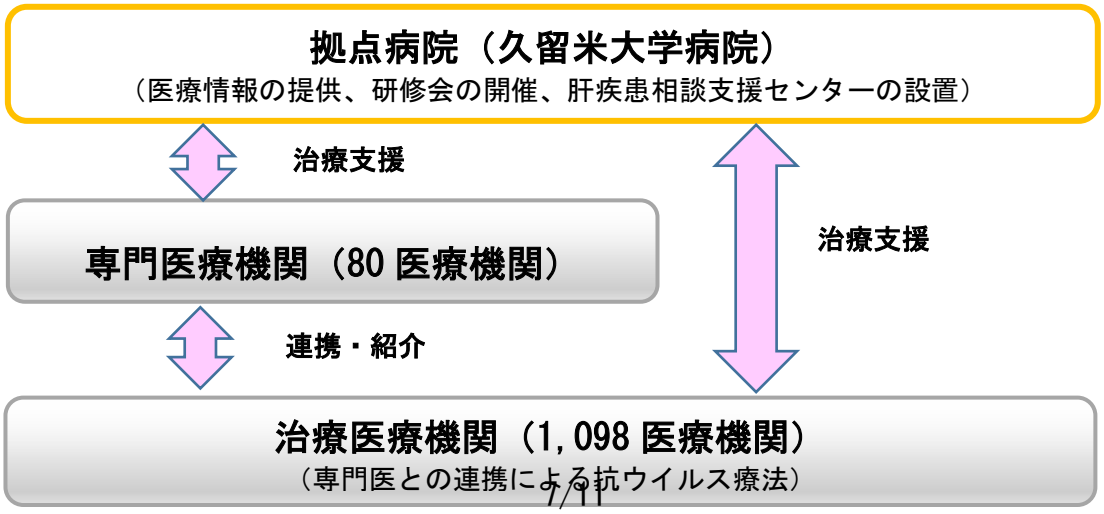
（１）拠点病院、専門医療機関及び治療医療機関等における情報の共有
・拠点病院による、医療従事者等を対象とした、肝炎医療についての研修会の開催
・医療機関等に対し、医療費助成制度について情報提供
・福岡県肝疾患専門医療機関連絡協議会開催

（２）拠点病院及び専門医療機関から治療医療機関への技術的支援
①拠点病院から、専門医療機関（80 か所）、治療医療機関（1,098 か所）に対する技術的支援
・専門・治療医療機関の医師等からの相談対応
・インターフェロンフリー再治療における意見書の作成　等
②専門医療機関から、治療医療機関に対する技術的支援
・診断や治療方針の決定　等

（３）抗ウイルス療法等の推進
・Ｂ型肝炎については、核酸アナログ製剤治療等、Ｃ型肝炎についてはインターフェロンフリー治療等を推進
・治療法別の肝炎治療受給者証交付件数の推移

	インターフェロン	インターフェロンフリー	核酸アナログ製剤（新規）	核酸アナログ製剤（更新）	合計
2022(R4)年度	4	587	389	4，420	5，400
2023(R5)年度	1	461	356	4，560	5，378
2024(R6)年度	2	465	387	4，591	5，445
2025(R7)年度	0	373	299	4，560	5，236

（４）肝疾患相談支援センターにおける受診継続支援
・肝疾患診療連携拠点病院である久留米大学病院に「肝疾患相談支援センター」を設置し、患者や家族等からの肝疾患に係る相談に対応



（５）肝炎患者支援手帳の継続的活用

・保健福祉（環境）事務所等へ配布

（６）肝炎医療コーディネーター養成セミナー等の実施

・肝炎医療コーディネーター養成セミナー（年２回開催）（WEB 開催）

2025(令和７)年度：５月１０日～５月２５日　参加者　１７２人　認定者　１５０人

８月３０日～９月１５日　参加者　　６１人　認定者　　４３人

合計　参加者　２３３人　認定者　１９３人

	参加者	認定者
2024（Ｒ６）年度	２７７	２１０
2025（Ｒ７）年度	２３３	１９３
合計	５１０	４０３

・フォローアップセミナー（年２回開催）（会場開催）

2025(令和７)年度：６月２８日　参加者　９８人　認定者　９０人

１月１０日　参加者　６５人　認定者　６１人

	参加者	認定者
2024（Ｒ６）年度	１１５	１０５
2025（Ｒ７）年度	１６３	１５１
合計	２７８	２５６

※肝炎医療コーディネーター

肝炎患者等の身近な相談役として肝炎医療の継続等に関する支援を実施

※肝炎医療コーディネーター認定証の認定期間について

「福岡県肝炎医療コーディネーターの養成及び活用に関する要綱」では、肝炎医療コーディネーター養成セミナーを受講した者は、翌年度末までにフォローアップセミナーを受講しなければ、資格を喪失することとされている

（７）肝炎等治療医療費助成制度等の実施

①肝炎治療医療費助成の継続実施

・治療法別の肝炎治療受給者証交付件数の推移

	インターフェロン	インターフェロンフリー	核酸アナログ製剤（新規）	核酸アナログ製剤（更新）	合計
2022(R4)年度	4	587	389	4，420	5，400
2023(R5)年度	1	461	356	4，560	5，378
2024(R6)年度	2	465	387	4，591	5，445
2025(R7)年度	0	373	299	4，560	5，236

・肝炎治療費助成の助成額の推移

2022（令和４年）度　　２８３，２１５，８２１円

2023（令和５年）度　　２６３，１７３，４３１円

2024（令和６年）度　　２４９，２４５，６８４円

2025（令和７年）度　　２２８，３５０，０６５円

②肝炎ウイルス起因の肝がん・重度肝硬変患者の入院及び通院に係る医療費助成の継続実施（**参考資料８**）

・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者証交付件数の推移

	新規	更新	合計
2022(R4)年度	２９	１４	４３
2023(R5)年度	２６	３０	５６
2024(R6)年度	３６	２７	６３
2025(R7)年度	３２	３６	６８

・肝炎ウイルス起因の肝がん・重度肝硬変患者の入院及び通院に係る医療費助成の助成額の推移

2022（令和４）年度　　２，６６２，２９０円

2023（令和５）年度　　６，０１４，９０１円

2024（令和６）年度　　６，２７６，４４３円

2025（令和７）年度　　６，９３３，２３０円

・福岡県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関

（72 ヶ所（2026(R8)年 10 月現在））（**参考資料９**）

５　肝炎に関する正しい知識の更なる普及啓発

【個別目標】
〇県民への正しい知識の普及のため、効果的な啓発に努める
〇肝炎に関する相談、支援体制の一層の周知に努める

（１）世界肝炎デー・日本肝炎デー及び肝臓週間における啓発活動の実施
・肝炎デーに合わせ、県広報誌（福岡県だより）、ラジオ放送、県ホームページ、ポスター掲示による肝炎に関する正しい知識の普及啓発を実施
・県庁で肝炎ウイルスに関する啓発ロビー展を開催。「日本肝炎デー」及び「肝臓週間」にあわせ、肝炎ウイルス検査の受検促進や、感染予防についての啓発のための展示やＰＲ動画の放映を実施
（再掲）

（２）感染予防についての普及啓発
・感染経路の知識不足による新たな感染を予防するため、日常生活上の感染予防の留意点や高齢者施設や保育施設向けのガイドラインを県 HP に掲載し周知
・ピアスの穴あけや入れ墨等、血液の付着する器具の共有や性行為等による感染の危険性に関する正しい知識を普及啓発するため、リーフレットを作成（**参考資料６**）
・市町村を通じ、成人式でリーフレットを配布

（３）ハイリスクな方への啓発
・医療従事者や救急隊員等の感染リスクの高い方に対し、県 HP で肝炎ウイルス検査の必要性等を啓発

（４）職域との連携推進（再掲）
①医療保険者と協力した広報
・協会けんぽにおいて、保険者に肝炎ウイルス受診案内のチラシ配布
②事業主と協力した広報
・受検勧奨ポスター（**参考資料５**）
「働く世代をがんから守るがん対策サポート事業」登録事業所等に配布
・感染予防（若者向け）リーフレット（**参考資料６**）
「福岡県がん征圧の集い＆働く世代をがんから守るがん対策推進大会」で配布
・県内の青年会議所へ福岡ブロック協議会を通じてメルマガ配信
「～一生に一度は受けましょう！肝炎ウイルス検査～」

（５）肝疾患相談支援センター、肝炎医療コーディネーターの県民への周知
・県、拠点病院のホームページや、県公式 LINE、X 等を活用し、肝疾患相談支援センターにおける肝炎患者等への支援や、肝炎医療コーディネーターによる相談業務等の取組について広く県民の方に周知

（６）肝炎患者等に対する偏見や差別の解消

・肝炎患者等に対する偏見や差別の解消のため、県ホームページ、県庁ロビー展、リーフレットの配布による正しい知識の普及啓発を実施

６　肝炎患者及び家族等に対する相談支援や情報提供の充実

【個別目標】
〇肝疾患相談支援センターによる相談支援を充実
〇肝炎医療コーディネーターの増加を図る（再掲）
2024(令和６)～2029(令和 11)年度までに 900 人を養成

（１）　肝疾患相談支援センターにおける相談支援

・拠点病院に肝疾患相談支援センターを設置し、患者やその家族等からの肝疾患にかかるさまざまな相談に対応している

（２）肝炎患者支援手帳の継続活用（再掲）

・保健福祉（環境）事務所等へ配布

（３）肝炎医療コーディネーター養成セミナー等の実施（再掲）

・肝炎医療コーディネーター養成セミナー（年２回開催）(WEB 開催)

2025(令和７)年度：５月１０日～５月２５日　参加者　１７２人　認定者　１５０人
８月３０日～９月１５日　参加者　　６１人　認定者　　４３人
合計　参加者　２３３人　認定者　１９３人

・フォローアップセミナー（年２回開催）(会場開催)

2025(令和７)年度：６月２８日　参加者　９８人　認定者　９０人
１月１０日　参加者　６５人　認定者　６１人